

2015年5月 富士山 BC スキー記録

(記 鳥切昇治)



期 間:2015年5月2日(土)

本八合目上の夏道から頂上を仰ぐ

場 所:富士山 須走口

メンバー:鳥切 昇治(74才)単独

行動記録

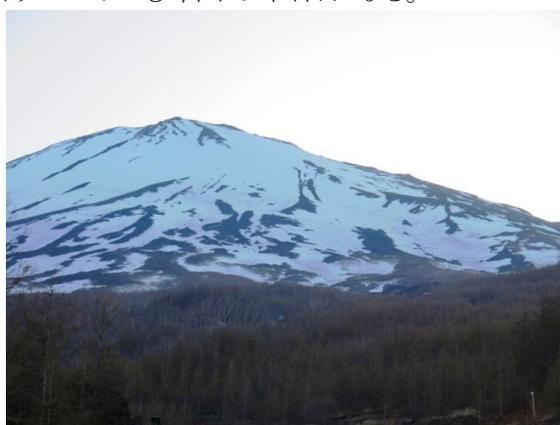
4月末、富士山を眺めると白い肌に縦の黒い線が見える。雪融けが例年より早い様だ。例年、滑り納めにしている富士山のバックカントリースキーも今回で6回目になる。

5月2日、須走口頂上の浅間大社奥宮まで登り、無事に滑り下りて来た。

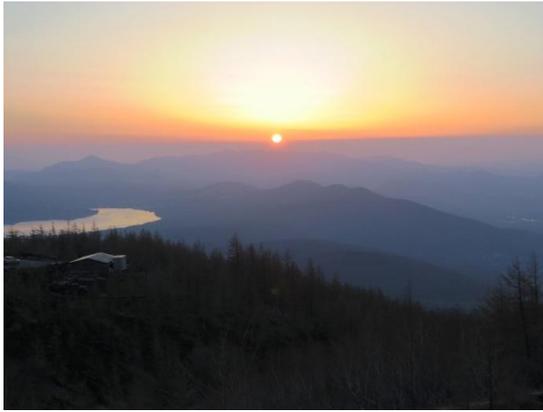
5月2日(土) 天候:晴

昨日の夕方、須走口五合目の駐車場に来て車中泊。駐車している車は数台しか無く、少ない。良く寝られたが、寒かった。天気は快晴で日の出が綺麗だった。

朝食後支度をしてスキーを担ぎ、駐車場の脇からブル道を登る。やはり雪が少ない。例年の6月始位の感じである。雪渓末端まで登り、スキーにシールを装着、登り始める。しばらく沢筋の雪を拾いながら登る。



須走口五合目駐車場から夕方の富士山



駐車場から日の出と山中湖

鳥居がある本八合目上の夏道の方へトラバース。アイゼンを履きスキーをザックに付け夏道に沿って雪面を登る。この方が歩き易く、ピッチにリズムが出て来た。頂上の山小屋が間近になり、狛犬と鳥居を

広い雪面に出た。毎度のことながら単調な登りが続く。雪が締っていて登り易い。

今日は登山者、スキーヤー共少ない。右の吉田大沢の方に登って行く。

雪面はシール登行に丁度良い状態だったが、次第に雪面がアバタ状になり硬くなって来たのでクローを装着するか、アイゼンに切り替えるか判断に迷う。疲れからかピッチが上がらない。



本八合目山小屋



この狛犬と鳥居を抜けると頂上だ抜け、浅間大社奥宮の所に出た。今年は何とか登り切った。



頂上の浅間大社奥宮に到着

時計は14時30分を廻っていた。登り始めておよそ8時間を経過していた。

時間的に剣ヶ峰は無理なので、滑走準備をしながら行動食を腹に詰め込む。

御殿場口方面から登山者2名が来たので写真を撮ってもらう。動作が遅くて大分時間が経過してしまった。年は取りたくないもんだ！剣ヶ峰の写真を撮ってからスキーを履き下山道口から滑り始める。



来合せた登山者に写真を撮ってもらう



5月2日の富士山剣ヶ峰

アイスバーンに近い硬いアバタ状の雪なので転倒しないよう、スピードをコントロールしながら大斜面を慎重に滑る。息が切れるので休みを入れながら滑る。

下を見ると雲海で目標となる須走口の五合目駐車場が見えない。間違えたら大変だ。



頂上から滑って来たアバタ状の斜面



目標の須走口五合目駐車場が雲で見えない

何時ものようにルートを右の方向に取りながらターンして行く。すると宝永山らしき山が見えて来た。シマッタ！ 右に寄り過ぎてしまった様だ。

トラバースしながら戻り、雲海が切れるのを待つ。太陽が陰り、寒くなって来た。ようやく雲海が切れて五合目の駐車場が左の方に見えた。もう少し左に行かなければいけない。雪が消えた砂地を左に渡り、トラバース気味に滑る。

五合目駐車場が真下に見える沢筋まで滑って来た。標高はおよそ2600m。スプーンカットの雪面のアイスバーンに足を取られ転倒する。まだ雪面は続いているがスプーンカットの雪面のアイスバーンでは怪我をする危険があると判断し、歩いて下る事にする。

アイゼンを履きスキーをザックに付け、シュプール跡が残る雪面を下る。五合目駐車場は真下に見えている。ダケカンバのブッシュ帯まで下って来た。左の方に行こうか迷ったがそのままシュプール跡を辿る。それがいけなかったのか右の沢筋に入ってしまった。左方に行けば良かったと悔やむ。このまま下っても五合目駐車場には着くだろうと判断し下る。カラマツ林に入って左の方へ歩く。背負ったスキーが邪魔で歩き難い。結局、下山道に出られず「まぼろしの滝」への道に出た。余計なアルバイトを強いられ何時もより1時間以上もロスしてしまった。でも何とか明るい内に五合目駐車場に着いた。ヤレヤレ。

スキー、靴、ザックを車に積み込み、着替えてから帰路に着く。今年の滑り納めは後味が悪いとボヤキながら...！

コースタイム

須走口五合目駐車場 6:15—14:35 浅間大社奥宮 15:40—18:10 須走口五合目駐車場
18:40—21:15 自宅

以上